（毎日曜日休刊）（定價金三錢）

（毎日曜日刊）

時事新報

時事新報定價
一枚金三錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便稅一箇月金廿六錢〇一箇年金三圓十二錢〇左ニ掲ク各地ニ於テハ發賣所ヨリ郵送無料ニテ配達致候（但本社ヨリ直接郵送スルモノハ此限ニアラズ）
●東京●横濱●横須賀●神奈川●藤澤●大磯●小田原●箱根●吉原●興津●清水●靜岡●濱松●島田●藤枝●大阪●京都●大津●山崎●岡崎●豊橋●四日市●桑名●津●松阪●山田●伊勢●福島●名古屋●熱田●桑名●弘前●高崎●小諸●岩村田●上田●宇都宮●鹿沼●八王子●千住●越ヶ谷●熊谷●杉戸●幸手●加須●鶴岡●千葉●佐倉●東金●九鬼●館山●市川
其他同地近傍郵便賣ノ個所ハ同レク郵便料不申受候
時事新報廣告料（前金）一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上	七日以上	十六日以上
自一行至十行	錢八	錢七	錢六	錢五
自十一行至三十行	錢七厘	錢六厘	錢五厘	錢四厘五毛
三十一行以上	錢六厘五毛	錢五厘	錢四厘五毛	錢四厘

時事報報

國の商賣は國交際上に利用すべき者に非ず四洋諸國れ商人が東洋ゑ渡來して商賣を營むは固より其勝手たる所なり彼我相對して私に取引と爲す限りハ縱へ其關係い如何樣なるも傍らより容喙と許すべきに非ずと雖も近來西洋人が東洋に對するハ商賣振りハ右の法則と守らずして一種の權相を生じ孰れも政事の門に托して商賣の道を求めんとするゑ至りたる如き實に咄々怪事なりと言ハざる可らざるなり今其二三の例として見るべきハ獨逸の商人はビスマルク公よりの添書を得て此東洋ゑ來りたりといひ或は佛朗西れ政府ハろの國商民の爲めゑ特に支那政府に約束して鐵道建築等れ利益ゑ當らしむると許可したりと云ひまゑ英國に於ても佛獨の政府若くハ公使等が爾く在東洋の自國商民と保護するの厚きと見て獨り英國商民がろの利益ゑ後るゝを傍觀する能ハずとし其外務大臣は在東洋の公使等に屢しき訓令と下し力の及ぶ限り英國民の商利と保護せざる可らずとまでゑ指圖したる如きは既に世に聞れ無きの事實ゑ之て此頃又新ゑ聞く處ゑ據るば米國政府に於ても何ゑか大ゑ此邊に心配し他れ邦國同樣在東洋米國商人に保護と與ふるの計畫ありといへり米國にして既ゑ然り此際苟も東洋に商民ある國ならば歐西亞なり伊太利なり其他孰れの政府ふくも亦これが權ゑ後はざるもの無ゑる可し蓋し一國の政府として其權力と尋常國交際の區内に限ふず政府自身若くハ在外公使の紹介周旋ゑてその國れ商民に特別の利益と與ふるの道これありとせば此干渉法と利用して國益を圖らざるハ愚者なり今の西洋諸國ハ決し愚人ゑらず利を射るに鋭くして人後に立つと甘んずるものに非ず甲首めゑ北利に浴して乙次でこれゑ均霑せんゑと求め循環相模倣せゑ遂に東洋全体れ商賣と擧げて國交際上、人れ好事と賈ふの犧牲と爲すハ至らんゑと今より期ゑて待りと得べし豈ゑ恐るべき事なきや

偖何故ゑれば今の東洋諸邦ハ爾く商賣をして政治上若くハ交際上の犧牲たるに至らしめしやと云ふに其實と當局の東洋諸國の政府ゑ在りと申すより外無らん今若し西洋諸國の中に於て例へば獨逸の宰相が本國の商人ゑ添書と持たせてこれを巴里に送ることの萬一にもありとせば佛蘭人い怒らざるまでもこれゑ取合ふものなく世の人も亦嘲かしこれを笑ふまでならん故に獨逸の宰相も最初より政治社會外の事にゑで手と出ゑて笑ひを世に取るの愚ゑは行はざるべし然るゑ西洋の政府政治家は獨り東洋諸國ゑ限りて不可思議ゑも此世話周旋を務め國交際の範圍と蹂ゑて商人私業上れ商利の保護を引受け而して歐米人は勿論、東洋人自身さへ尚ほ恬として之を怪むの色無ゑとは實ゑ言語道斷の次第といふべし現在支那の鐵道工事の如き未だ着手に至らざる今日より西洋諸國の商人互に先を競ひろの工事の利益ゑ當らんと欲し加ふるゑ其本國の政府が内々にて後援助力と爲すあるがゆゑ頓て工事着手の其曉にも至らば材料買入れ建築請負ひの爭ひゑて西洋諸邦人の間ゑ紛議を起し然えて何時ゑ其衝ゑ當るべきハ支那政府として他日困難の地位ゑ陷らんこと今より明に見る可し其他何種の事業に限らず西洋人がゑきゑ投じて利を射るの事柄ならんゑは其商利と分配するに偏頗輕重の沙汰ありとて每々紛議の種子となり其結果と東洋人が自ら錢を損して西洋人の怨と買ひ東洋諸國の大害物ゑる治外法權の如き常ふ二三の不平國の爲めに妨害せられて永くれを撤去せゑるの機會と得ざるやも知るべからず而して其根原は若國民の商賣と國交際上に濫用そゑは國の爲めに惜むべし

獨り國交際の儀式ゑのみ依頼して西洋諸國と圓滑れ交りと結ぶゑと難ゑ左すれば尋常表向きの交際の外に政府の手心にてこれゑ調ゑるに特別れ利益と以てゑて其好意と失はざること大切ゑり是れ國の商利を犧牲ゑえて強大國に結ぶの已み難き所以なりと併し我輩が斯る言ゑ對して異存ゑるは其輩ゑもゑる強大國なるものは世界中一ゑして足ゑず若し悉くれに向て特殊の商利と與へんと欲せば東洋國の力素より以てこれに應ずる能はざるべく我力既に盡て彼の好意尚ほ十分ゑらず其初め我より価と作つて人の慾と導き後ちゑいその慾ゑ應ずる能はずして大に人に怨まれ轉た後悔の日ゑるべしといふゑ在り然るより今に及んで斷然政府の外交と國民の商賣とれ區別と嚴にし苟めゑも商賣に關するとゑゑば國の經濟と計るれ外は政府は一切関かり知らざると爲し飽くまで政治の範圍内に範守するゑ於てゑ如何に西洋諸國ゑれば又た國交際の威權と弄して商利と營んとするの口實なきがため自然本道に復し尋常の交際法と以て互ひの親睦と維持するゑゝならん此樣の分るゝ所ゑ間髪と容れず今の東洋外交の局に當るものは大に自ら戒めて可ゑり

官報

○警視廳告示第三號
牛込警察署所轄牛込區ノ内牛込水道町及改代町ヲ自今小石川警察署ノ所轄トス
明治十九年六月七日　警視總監三島通庸

○警視廳告示第四號
牛込警察署所轄牛込區ノ内牛込水道町及改代町ヲ自今小石川警察署ノ所轄トス
明治十九年六月七日　警視總監三島通庸

雜報

○大阪通信　六月五日
虎列刺病　近々當地ニ發生したる時、直ちに勢の衰へゝる氣味なるが大阪商船會社ハ既ニ醫師ヲ雇ヒ入れ各汽船に醫師ヲ乘組ませ發生したる時、直ちに消毒等を用意し居るなり

第千二百九十六號　火曜日
明治十九年六月八日　（己亥）
舊丙戌五月七日
日入午前四時十五分　月出午後七時十三分
月入午後十一時三十五分　潮汐午前九時三十七分
潮汐午後十時四十四分
（西暦一千八百八十六年）

流行地　月日　新患　新舊死亡
大阪府　六月五日　八十一人　七十八人
但し四區西成郡に新患四十八人新舊死亡四十四人
京都府　同　二十五人　十四人
但し上下兩京區に新患二十一人新舊死亡十人
兵庫縣　同　四十七人　四十七人
但し神戸區に新患二十三人新舊死亡三十一人

○流行地外虎列刺、愛知縣去月三十一日新患一人、本月一日死亡、和歌山縣去月十六日より二十九日迄新患百四十二人、新舊死亡九十三人、廣島縣去月二十三日より三十一日迄新患五十五人、同死亡二十二人、德島縣去る四日新患三人、新舊死亡三人、愛媛縣去る三日より四日迄新患四十九人、新舊死亡二十七人、岡山縣去月二十六日より去る一日迄新患二十二人、新舊死亡五人あり（愛知外五縣報告）

○海外旅券附與數　本年五月中外務省に於て交付せ海外旅券數は米國行男二十六人、英國行男一人、露國行男一人、清國行男六人、女二人、朝鮮國行男一人ゑして合計三十七人あり（外務省報告）（以上六月七日官報）

○日本移住民ノ狀況（昨三日ノ續）
此ノ地勞働者ノ二割五分貯金ハ本月迄ニテ其ノ總額三千四百五十一弗ニ及ヒタリ又彼等ニハ監督者ト相對ノ私約ニテ病者ニハ食料ヲ給セス出勤ノ徒ハ一箇月九弗ノ外ニ一弗ヲ增加シ給金食料ヲ合シテ十六弗ト定メタル由ナリ其ノ食料六弗ノ内實費ハ大抵一箇月三弗七十仙内外ナレハ殘額二弗三十仙此ノ他給料十弗ノ内概シテ七八弗ヲ蓄財スルニヨリ二割五分ヲ外ニメ勞働者每月餘ス所十弗左スレハ此ノ割合ニテ引續キ就業スル者ハ三箇年滿期ノ後貯蓄總計四百弗ヲ得ルハ難事ニ非サル可シ所謂ニ據レハ此ノ臺博奕ノ外ハ衣食共ニ驚クヘキ節儉ニヤ甚シキ者ハ支那人モ及ハサル所アリト近頃ハ蓄財ノ覺悟ヨリ一般ニ數字丼ニ$ノ如キ貨幣ノ符號ヲ解シ又或ハABCヲ讀シテ(ABC)ノ如キ語ヲ讀ミ得ル者アリ本國ニ在リテハ文盲ニ安スル農夫ノ此ノ如キニ至リハ異域ニ在リテ其ノ精神チ發達セシ一端ヲ見ルニ足ル可シト思ハル、ナリ

十六日夜汽船「キナウ」號ニ搭シテウイ島ヲ發シテ翌十七日拂曉ハワイ島マフコナ港ニ着シ汽車ニ乘シテコハラニ抵ル此ノ地ニハ我カ移住民四箇所ノ耕地ニ分レテ働作セリ即チ左ノ如シ

第一　ココーリー耕地　山口縣廣島二縣民　四十一名　男二十二名　女十九名
第二　コハラ耕地　山口縣廣島二縣民　三十一名　男二十九名　女十九名
第三　スクール耕地　山口縣廣島二縣民　二十八名　男二十六名　女十九名　小兒十二名
第四　ユニコン耕地　廣島縣民　二十八名　男二十四名　女四名

本官等先ツココーリー耕地ヨリ起リテ順次ニ各所ヲ巡廻セリ而シテ其ノ視察セシ所ノ移住民ノ實況ハ左ノ如シ

ココーリー耕地　元來コハラノ地タル山チ負ヒ海ニ臨ミ其ノ間平地少カラス到ル處草木繁茂シ風景美麗ニシテ前文マウイ島耕地ノ比ニ非ス殊ニ氣候ハ時々ノ驟風ト海風トニ由リテ常ニ爽涼ナリト謂フ此ノ地各所共潤田ノ設ナシ以テ多雨ノ一徴チ見ルニ足ル可シ扨本耕地我カ移住民ノ家屋ハ山ノ半腹ニ在リテ是又長屋風ノ築造ナレモ頗ル鹿愚ニシテ又狹隘ナリ且庖廚、浴室、便所ノ如キモマウイノ如ク便ナシサルカ故ニ勞働者ノ訴願ニ任セ各所ノ改良ヲ監督者ニ談合シ不日工事着手ニ決定セリ然レモ每室壇除十分ニ行屆キテ或ハ扒上ニ蓋硯書籍ヲ列チ或ハ壁上ニ生花ヲ飾リタル如キ一目シテ彼等博奕場ニ類ラス體裁善シ其ノ生チ安スルチ知レリ又屋後ニハ大凡二十坪許ノ畑チ開キ甘藷大根菜葱ノ類チ種蒔セリ因リテ肉食ノ事チ問フ曰ク屠牛所ハ其近傍ニ在リテ價格一「ポンド」十五仙乃至二十仙一週間内二回之チ食スト云フ其ノ價頗ル貴キチ以テ監督者ニ糺スニ「ポンド」十仙ナレハ相應ノ生肉チ得ヘシ彼等言語不通ナルヨリ或ハ誤解シ又ハ詐欺セラルヽ事計リ難キニヨリ向後ハ給肉ノ事同人周旋ス可シト約セリ

疾病ハ近頃逸樂氣振四五名アリ皆全癒セリト謂フ扨一般ノ狀況ニ就キ雇者被雇者雙方ニ糺スニ監督者曰ク勞働者孰モ亦嘲かしこれを笑ふまでならん故に獨逸の宰相も最初より政治社會外の事にゑで手を出ゑて笑ひを世に取るの愚ゑは行はざるべし然るゑ西洋の政府政治家は獨り東洋諸國ゑ限りて不可思議ゑも此世話周旋を務め國交際の範圍と蹂ゑて商人私業上れ商利の保護を引受け而して歐米人は勿論、東洋人自身さへ尚ほ恬として之を怪むの色無ゑとは實ゑ言語道斷の次第といふべし現在支那の鐵道工事の如き未だ着手に至らざる今日より西洋諸國の商人互に先を競ひろの工事の利益ゑ當らんと欲し加ふるゑ其本國の政府が内々にて後援助力と爲すあるがゆゑ頓て工事着手の其曉にも至らば材料買入れ建築請負ひの爭ひゑて西洋諸邦人の間ゑ紛議を起し然えて何時ゑ其衝ゑ當るべきハ支那政府として他日困難の地位ゑ陷らんこと今より明に見る可し其他何種の事業に限らず西洋人がゑきゑ投じて利を射るの事柄ならんゑは其商利と分配するに偏頗輕重の沙汰ありとて每々紛議の種子となり其結果と東洋人が自ら錢を損して西洋人の怨と買ひ東洋諸國の大害物ゑる治外法權の如き常ふ二三の不平國の爲めに妨害せられて永くれを撤去せゑるの機會と得ざるやも知るべからず而して其根原は若國民の商賣と國交際上に濫用そゑは國の爲めに惜むべし

獨り國交際の儀式ゑのみ依頼して西洋諸國と圓滑れ交りと結ぶゑと難ゑ左すれば尋常表向きの交際の外に政府の手心にてこれゑ調ゑるに特別れ利益と以てゑて其好意と失はざること大切ゑり是れ國の商利を犧牲ゑえて強大國に結ぶの已み難き所以なりと併し我輩が斯る言ゑ對して異存ゑるは其輩ゑもゑる強大國なるものは世界中一ゑして足ゑず若し悉くれに向て特殊の商利と與へんと欲せば東洋國の力素より以てこれに應ずる能はざるべく我力既に盡て彼の好意尚ほ十分ゑらず其初め我より価と作つて人の慾と導き後ちゑいその慾ゑ應ずる能はずして大に人に怨まれ轉た後悔の日ゑるべしといふゑ在り然るより今に及んで斷然政府の外交と國民の商賣とれ區別と嚴にし苟めゑも商賣に關するとゑゑば國の經濟と計るれ外は政府は一切関かり知らざると爲し飽くまで政治の範圍内に範守するゑ於てゑ如何に西洋諸國ゑれば又た國交際の威權と弄して商利と營んとするの口實なきがため自然本道に復し尋常の交際法と以て互ひの親睦と維持するゑゝならん此樣の分るゝ所ゑ間髪と容れず今の東洋外交の局に當るものは大に自ら戒めて可ゑり

○大阪通信　六月五日
虎列刺病　近々當地ニ發生したる時、直ちに勢の衰へゝる氣味なるが大阪商船會社ハ既ニ醫師ヲ雇ヒ入れ各汽船に醫師ヲ乘組ませ發生したる時、直ちに消毒等を用意し居るなり